

とろろこんぶシステム工房

とろろこんぶ電子印鑑

e-Seal 押印メニューガイド

for Excel2010

1.3.7 版

2011/ 6/9

目次

	ページ
0. はじめに	2
1. e-Seal 押印メニューについて	3
2. e-Seal 押印メニューのインストール	6
2-1 事前のチェック	6
2-2 インストール	7
3. アドインマクロのテスト	16
4. アンインストール	17
参考資料	
参考資料 1 オブジェクト輪郭線の削除	19
参考資料 2 シートのロック（保護）	20
参考資料 3 承認定型用紙の作成	23
Appendix A はんこメニューアドインマクロの作成	24
Appendix B Excel 文書名の INI ファイル出力	27
Appendix C アドインマクロの手動配置	28

0. はじめに

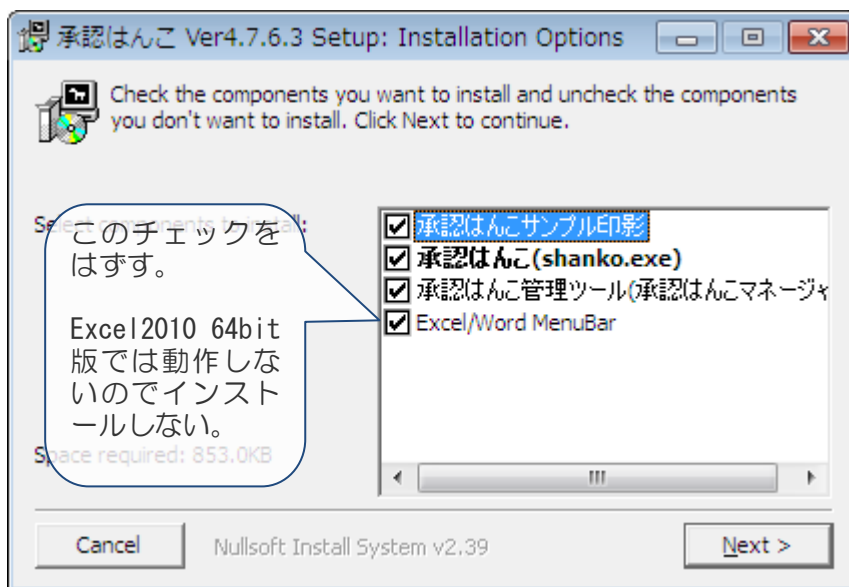
このマニュアルでは、エクセルシートに「承認はんこ」または「日付印ぺったん」を押印する e-Seal 押印メニューのインストール方法を説明いたします。

「承認はんこ」および「日付印ぺったん」には、それぞれのインストーラにこの e-Seal 押印メニューが標準で備わっていますが、Office2010 64bit 版では動作しません。

Office2010 64bit 版で使用する場合は「承認はんこ」および「日付印ぺったん」のインストーラに備わっている「Excel/Word MenuBar」はインストールしないでください。

右の図は承認はんこのインストール例です。

「承認はんこ」および「日付印ぺったん」のインストーラによってインストールされと Excel/Word MenuBar は32ビット用です。



動作環境： Excel2010(64bit 版)、Excel2010(32bit 版)

eSeal 押印メニュー for Excel Ver1.3.7 は Excel2007 以前のバージョンでは動作しません。 Excel2007 以前のバージョンで用いる場合は Ver1.3.6 を用いるか、あるいは「承認はんこ」および「日付印ぺったん」のインストーラに備わっている Excel 押印メニューを使用してください。

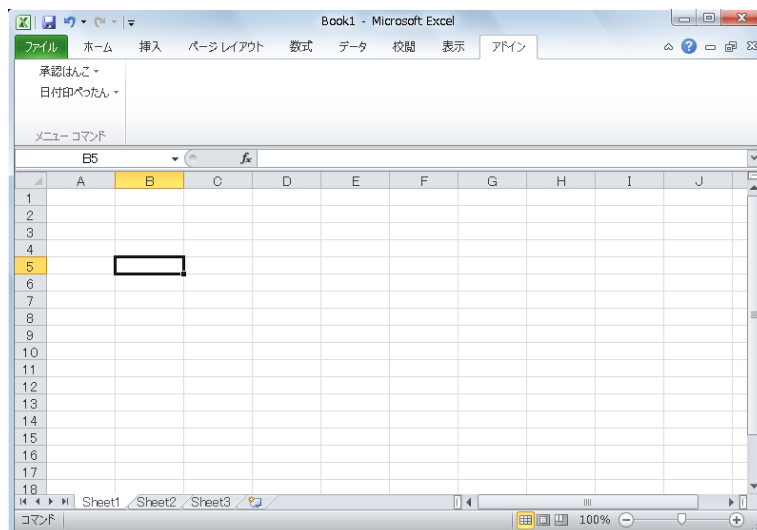
eSeal 押印メニュー for Excel Ver1.3.6 は次のサイトからダウンロードできます。

http://www.tororokonbu.jp/office_menubar/menubar_excel_old.html

1. e-Seal 押印メニューについて

「承認はんこ」および「日付印ぺったん」を用いて Excel 文書に押印する場合、この e-Seal 押印メニューを用いると簡単に押印することができます。

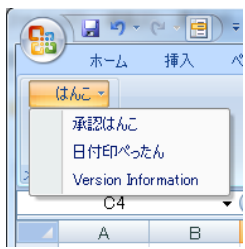
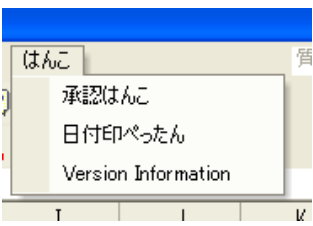
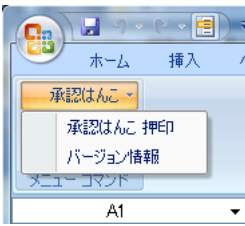
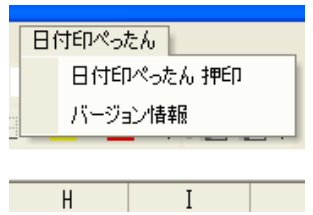
Excel2010 にはんこメニューを組み込んだ状態(右図)



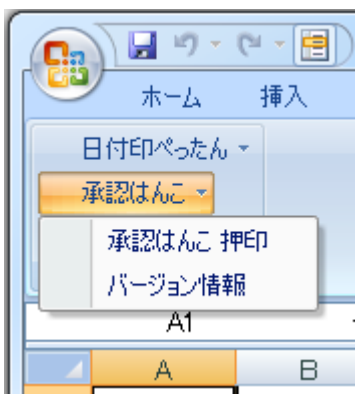
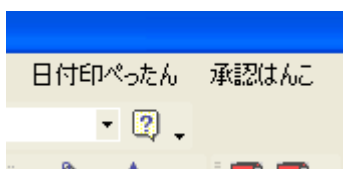
動作環境： Excel2010 (64bit 版)、Excel2010 (32bit 版)

eSeal 押印メニュー for Excel Ver1.3.7 は Excel2007 以前のバージョンでは動作しません。 Excel2007 以前のバージョンで用いる場合は Ver1.3.6 を用いるか、あるいは「承認はんこ」および「日付印ぺったん」のインストーラに備わっている Excel 押印メニューを使用してください。

この e-Seal 押印メニューには3つのアドインマクロファイル e-SealMenu64_shpt.xla、e-SealMenu64_sh.xla、e-SealMenu64_pt.xla が用意されています。通常はいずれか1つをインストールします。

アドインファイル名	説明	例) Excel2007 の場合	例) Excel2002 の場合
e-SealMenu64_shpt.xla	承認はんこと日付印ぺったんを使用する場合。		
e-SealMenu64_sh.xla	承認はんこのみを使用する場合。 承認はんこのインストーラにも含まれています。		
e-SealMenu64_pt.xla	日付印ぺったんのみ使用する場合。 日付印ぺったんのインストーラにも含まれています。		

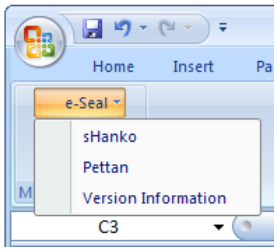
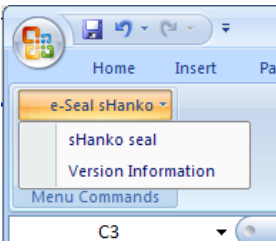
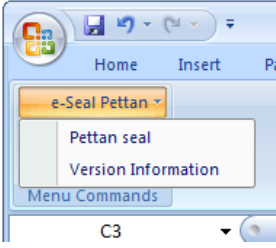
【参考】e-SealMenu64_sh.xla と e-SealMenu64_pt.xla の両方をインストールすることでもできます。その場合は以下ようになります。

	例) Excel2007 の場合	例) Excel2002 の場合
e-SealMenu64_sh.xla と e-SealMenu64_pt.xla の両方をインストールした場合		

(ノート)承認はんこと日付印ぺったんの両方を用いる場合

Excel2007 以降の場合は e-SealMenu64_sh.xla と e-SealMenu64_pt.xla をインストールしたほうが使いやすそうです。

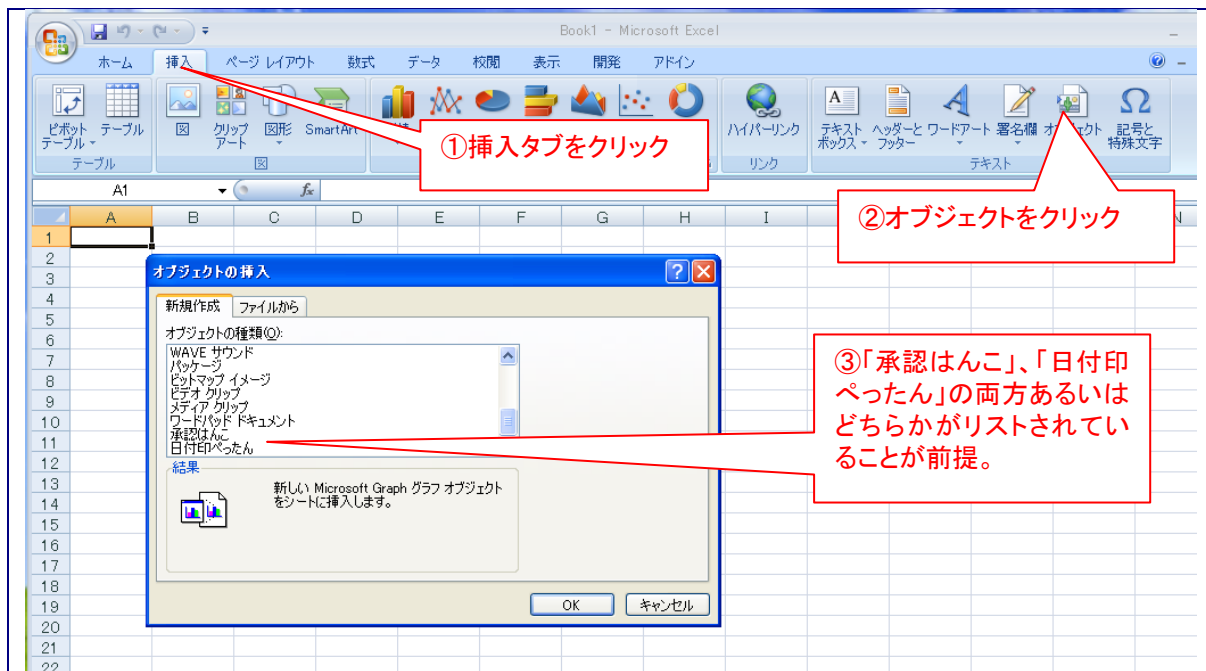
【参考】英語環境の場合はメニューは英語になります。

Addin file name	Description	Example) Excel2007
e-SealMenu64_shpt.xla	For both of "sHanko" and "Pettan".	
e-SealMenu64_sh.xla	For "sHanko".	
e-SealMenu64_pt.xla	For "Pettan".	

2. e-Seal 押印メニューのインストール

2-1. 事前のチェック

はんこメニュー/ツールバーが動作するには、承認はんこまたは日付印ぺったんがインストールされている必要があります。Excel の[オブジェクトの挿入]ダイアログ中のオブジェクトリストに「承認はんこ」または「日付印ぺったん」がリストされていることをご確認ください。リストされないようでしたらの承認はんこまたは日付印ぺったんがインストールされていない可能性があります。



オブジェクトの挿入ダイアログに「承認はんこ」、「日付印ぺったん」がリストされていることを確認してください。リストされない場合は「承認はんこ」、「日付印ぺったん」のインストールが正常に行われていません。インストールを再実行してください。この図は Excel2007 の場合です。

e-Sealmenu for Excel の最新バージョンは次のサイトからダウンロードできます。

http://www.tororokonbu.jp/office_menubar/menubar_excel.html

インターネット上からダウンロードなどして入手した場合はファイル名が e-seal_menu_excel13*.zip になっています。圧縮ファイルですので解凍してください。解凍によって インストーラ setup_menu_excel.exe が生成されます。

2-2. インストール

押印メニューのインストールは次の手順で行います。

- ① インストーラ setup_menu_excel.exe の実行
- ② アドインマクロの組み込み

【参考】インストーラ setup_menu_excel.exe はアドインマクロをアドインフォルダーに配置します。インストーラ setup_menu_excel.exe を用いずに手動で配置する場合は「AppendixC. アドインマクロの手動配置」を参考にしてください。

2-2-1 インストーラ setup_menu_excel.exe の実行

日本語環境と英語環境でのインストール方法を説明します。

【日本語環境】

手順 1) setup_menu_excel.exe をエクスプローラ上でダブルクリックするなどして実行します。

【Windows 7 の場合】

右図の表示が出ますのでボタン「はい」をクリックしてください。

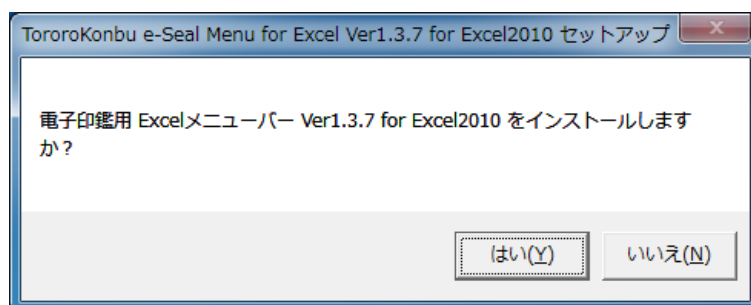


【Windows Vista の場合】

右図の表示が出ますのでボタン「続行」をクリックしてください。



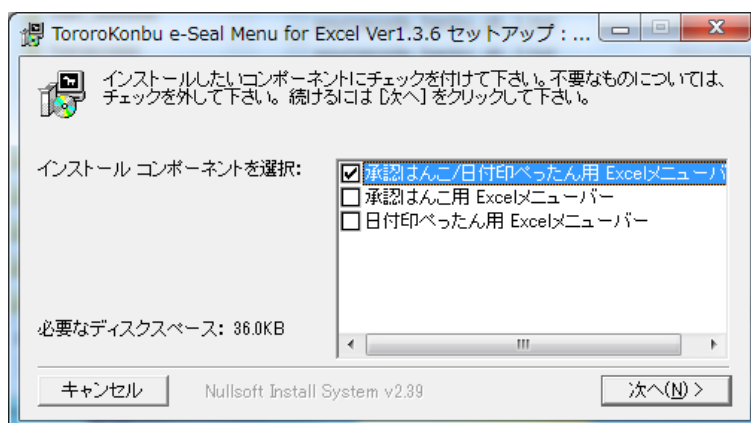
手順2) インストーラを起動すると確認のメッセージが表示されますのでボタン「はい」をクリックします。(右図)



手順3) インストールするモジュールを選択します。

どれか1つを選択します。

ボタン[Next >]をクリックします。(右図)



手順4) インストールフォルダーを指定します。

このフォルダーにはアンインストールだけが配置されます。

AddIn フォルダーは指定しないでください。

ボタン[Install]をクリックします。

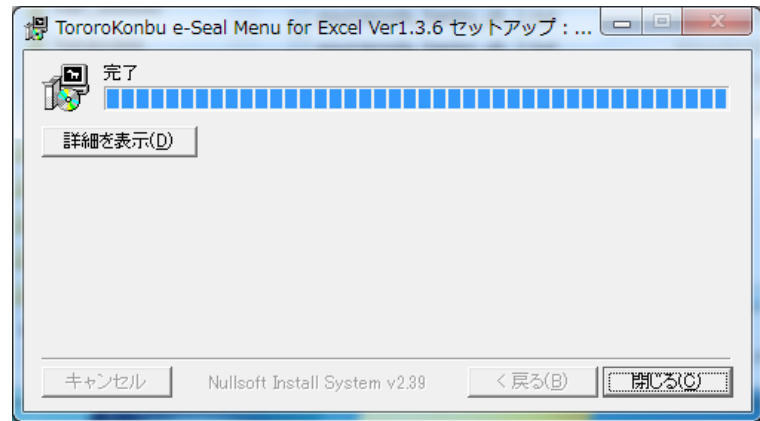
(右図)



Completed が表示されればインストールは終了です。

ボタン[Close]をクリックし、インストーラを終了します。

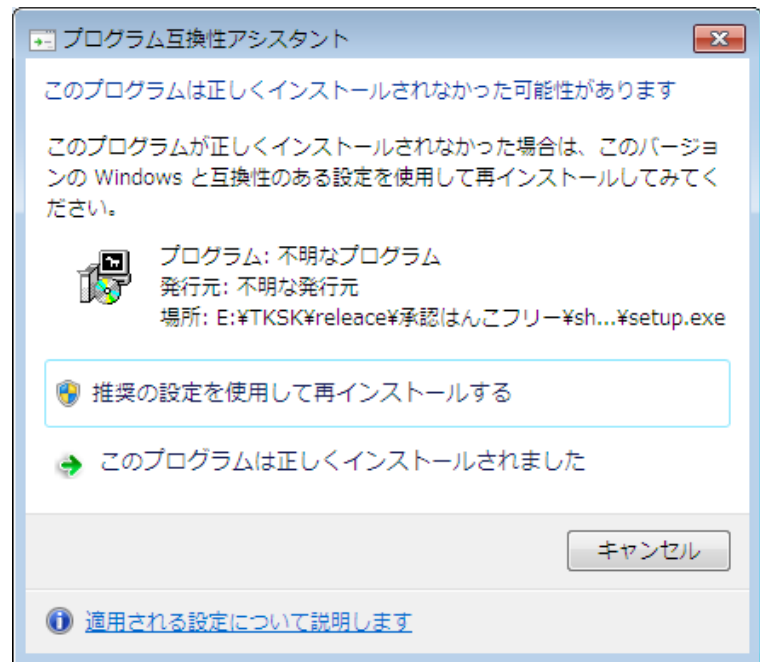
(右図)



注意) Windows 7/Vistaの場合、インストール終了後、「このプログラムは正しくインストールされなかった可能性があります。」と表示されることがあります。

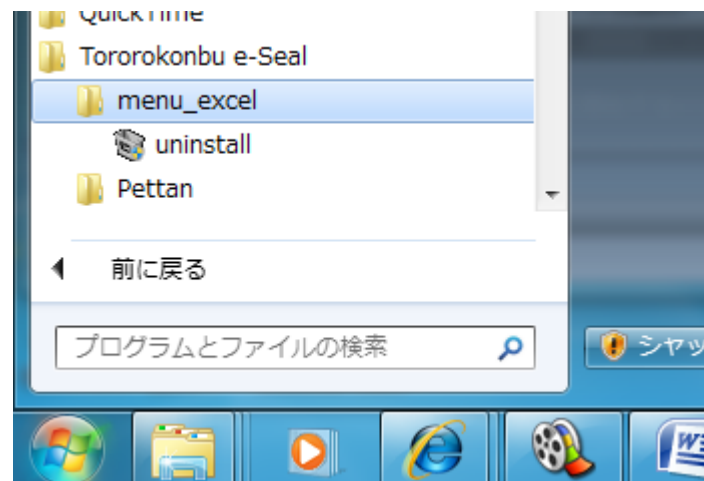
「このプログラムは正しくインストールされました。」を選択します。

(右図)



インストールが終了すると、スタートメニューにアンインストールが登録されています。

(右図)



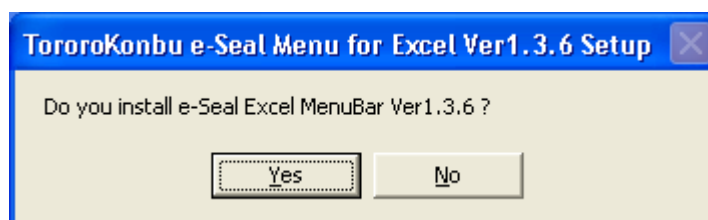
これだけでは動作しません。次にアドインマクロの組み込みを行います。

【英語環境】

Step1) Execute setup_menu_excel.exe .

Step2)

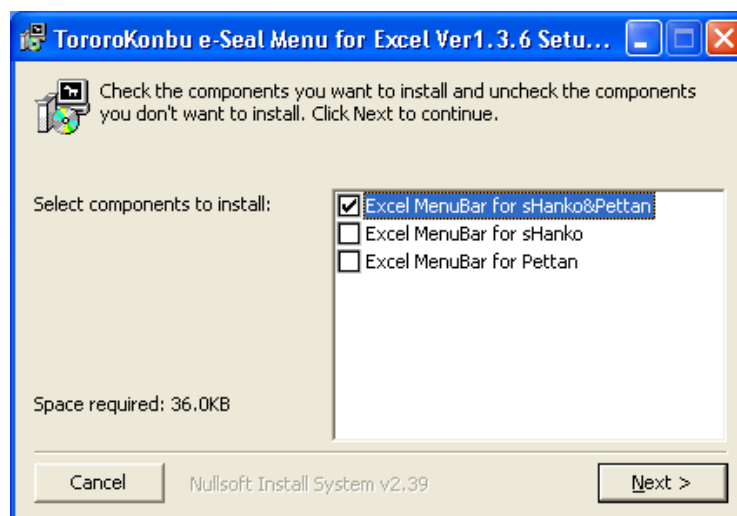
Because the message of the confirmation is displayed when the installer is started, click the button "Yes".



Step3)

Select just one module.

Click the button "Next >".

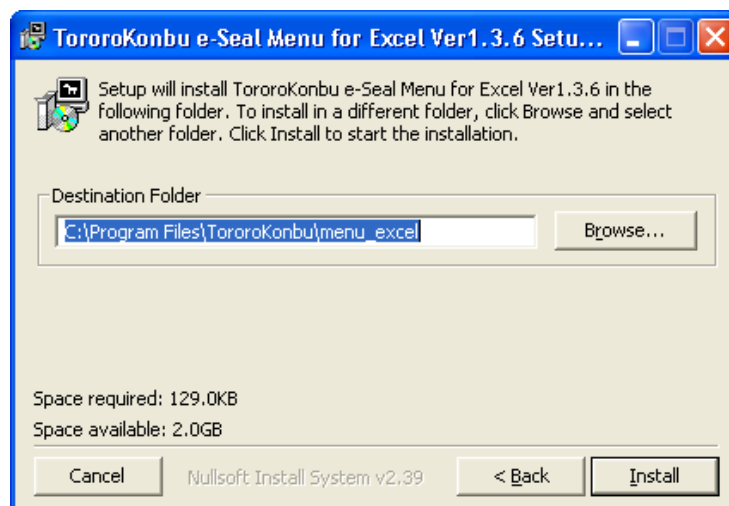


Step4)

Specify install folder.

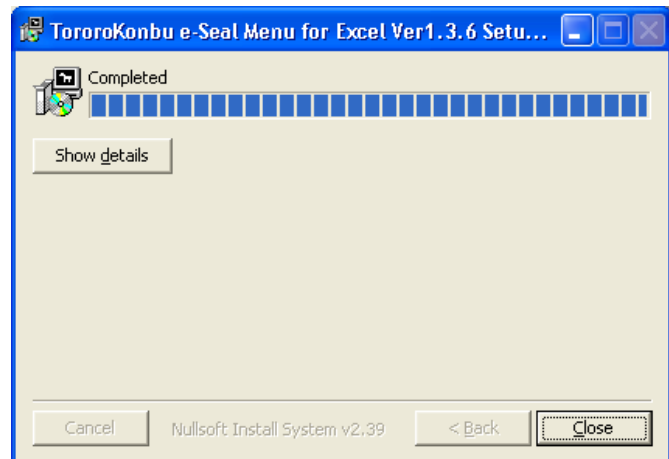
Only the uninstaller is put in this folder.
Do not specify the AddIn folder.

Click the button "Install".



The installation finished if "Completed" is displayed.

Click the button "Close".



2-2-2 アドインマクロの組み込み

setup はアドインフォルダーにアドインマクロファイルを配置しただけです。
次に、アドインを組み込む必要があります。

手順 1) MS-Excel を起動します。

手順 2) Excel アドインダイアログの表示

Excel2003 以前の場合はメニューから[ツール：アドイン...]を選択します。

Excel/2010/2007 の場合は以下に説明します。

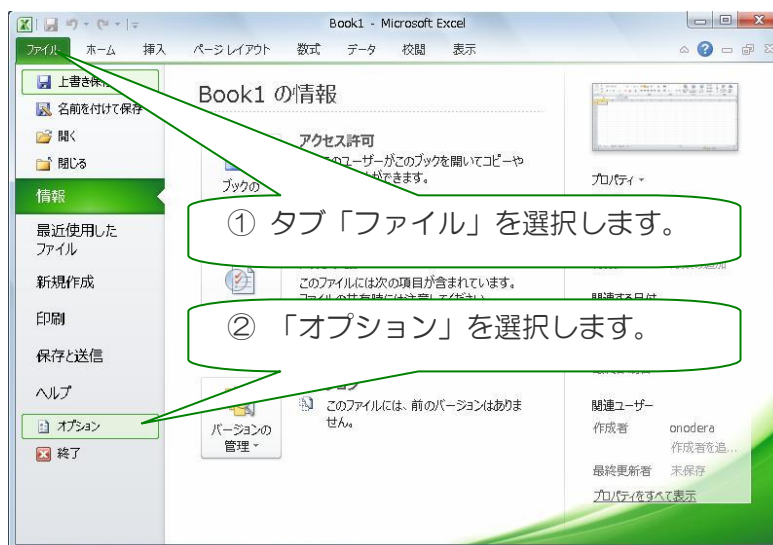
【日本語環境】

Excel2010 の場合

。タブ「ファイル」を選択します。

開いたメニュー一覧から、「オプション」を選択します。

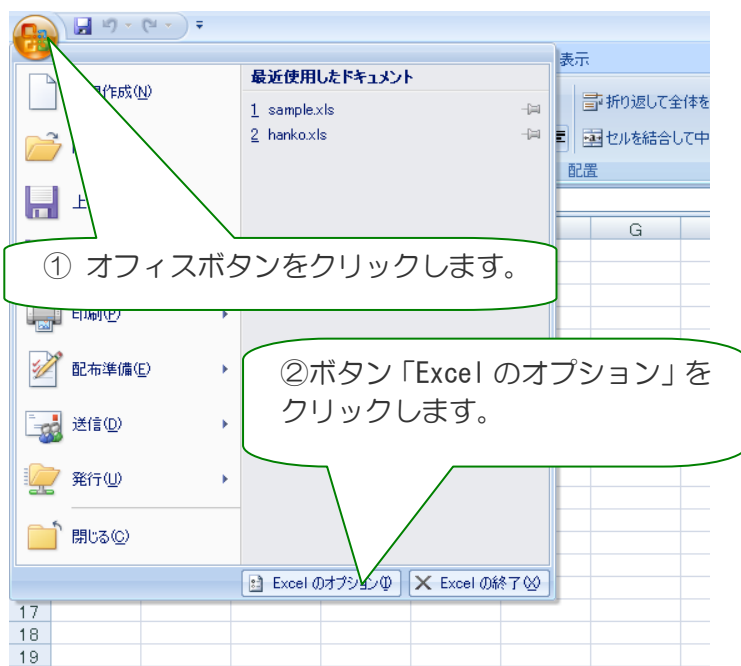
「Excel のオプション」ダイアログが表示されます。

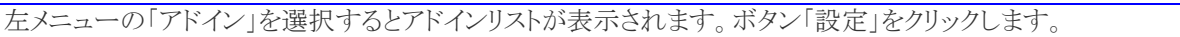
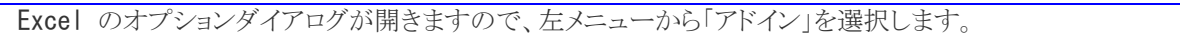


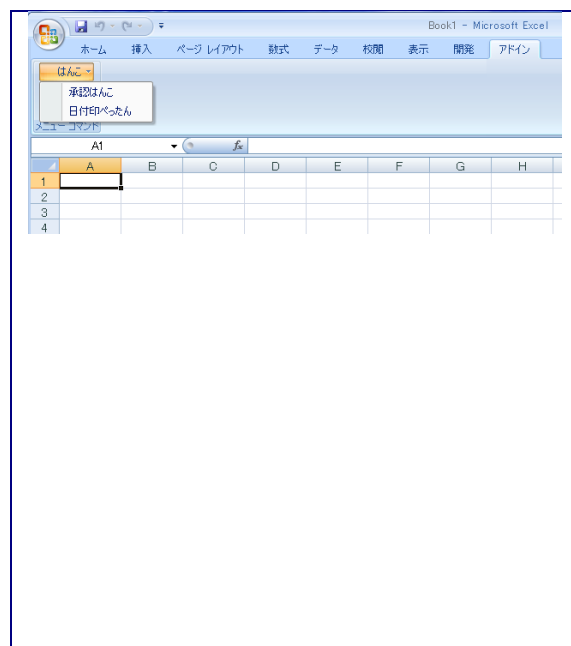
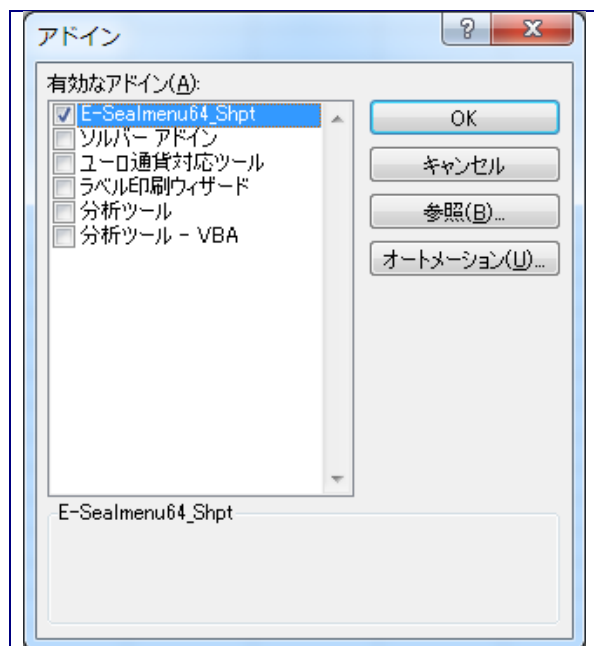
Excel2007 の場合

左上にある Office ボタンをクリックします。

開いたメニュー一覧から、ボタン「Excel のオプション」をクリックすると、「Excel のオプション」ダイアログが表示されます。







アドインダイアログに「E-SealMenu64_**」アドインがリストされています。チェックが付いていない場合はチェックを付けます。

「アドイン」タブの中に「はんこ」メニューできています。

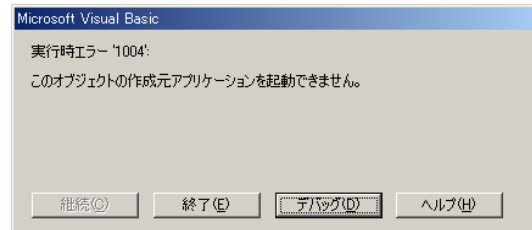
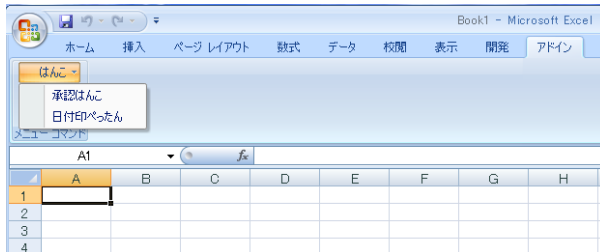
手順5) アドインダイアログが開きますので、アドインマクロ E-SealMenu64_*** がリストされていることを確認し、E-SealMenu64_***アドインにチェックをします。チェックすると、はんこメニューが表示されます。

3. アドインマクロのテスト

「承認はんこ」あるいは「日付印ぺったん」はインストールされている必要があります。

手順1) Excel が起動されていなければ起動します。

手順2) メニュー[はんこ→承認はんこ]あるいはメニュー[はんこ→日付印ぺったん]を選択します。



はんこメニューから承認はんこ、あるいは日付印ぺったんを選択します。

「承認はんこ」あるいは「日付印ぺったん」がインストールされていない場合はこのエラーが表示されます。

手順3) カーソルの位置にはんこオブジェクトが挿入されるはずですが。

もし、実行時エラー1004が表示された場合は、「承認はんこ」あるいは「日付印ぺったん」が正しくインストールされていないことが考えられます。

4. アンインストール

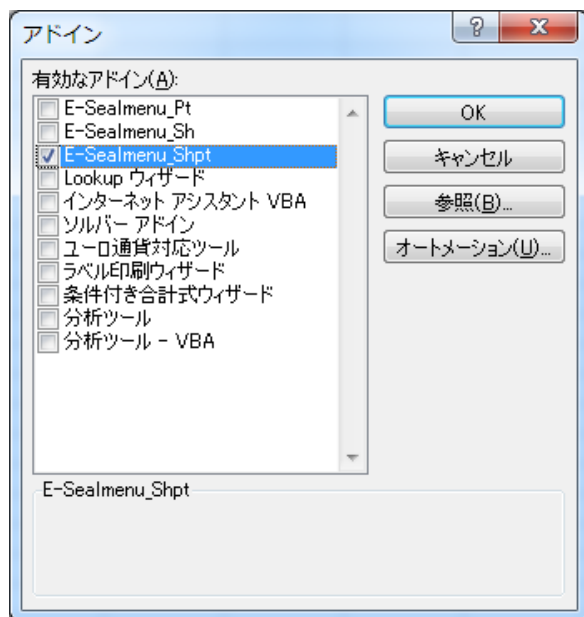
4-1. アドイン組み込み解除

手順1) MS-Excel を起動します。

手順2) アドインダイアログを開きます。

「AppendixD Excel2007 におけるアドインダイアログの表示方法」を参照してください。

アドインダイアログが開いたら、アドインマクロ hanko のチェックをはずし、ボタン OK をクリックします。(図 2-1)



アドインダイアログ中の「E-Seakmenu_***」アドインのチェックをはずし、ボタン OK をクリックします。

「はんこメニューを削除しました。」というメッセージが表示されて、はんこメニューが消えます。

手順3) はんこメニューが削除されたことを確認します。

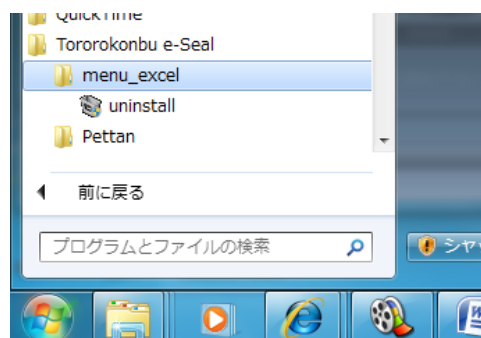
参考) はんこメニューを削除しただけではアドインダイアログに「hanko」がリストされたままです。気になるようでしたら、アドインマクロファイル hanko_*.xla を削除してください。

4-2. アンインストールの実行

スタートメニューから

Tororokonbu e-Seal:menu_excel:uninstall を選択し、アンインストールを実行します。

アドインフォルダーからマクロファイルが削除されます。



参考資料

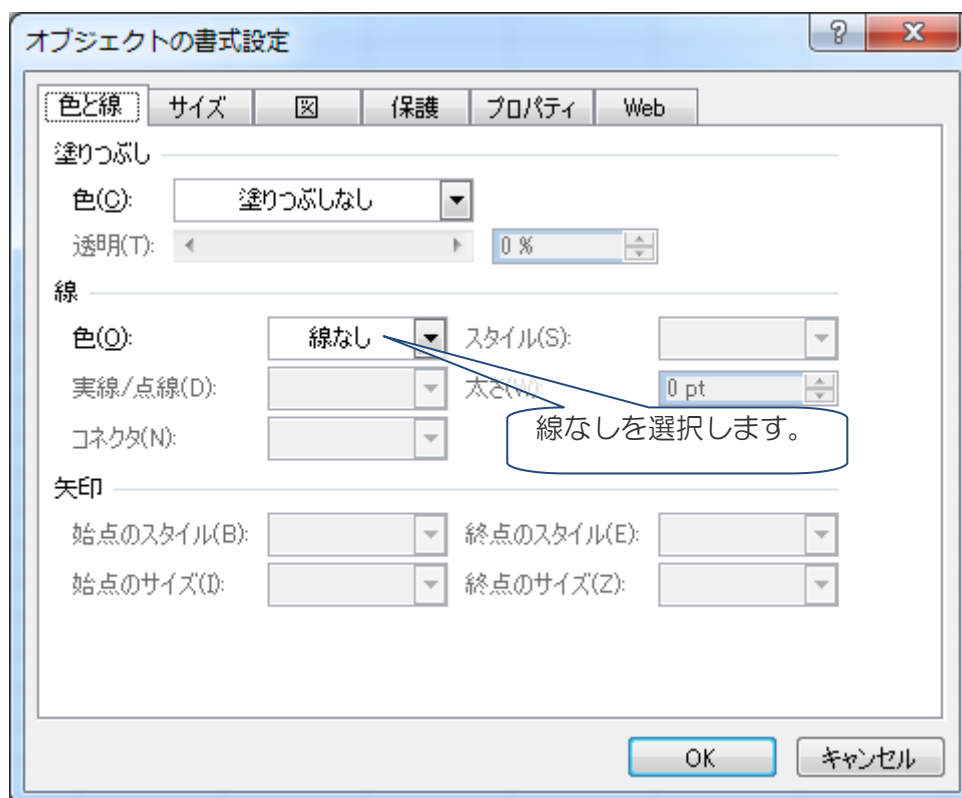
参考資料1. オブジェクト輪郭線の削除

Excel 用のはんこメニューバーのはんこオブジェクト挿入後、オブジェクトの輪郭線を自動削除します。しかし、はんこメニューバーを用いずに、メニュー「オブジェクト」を用いてはんこオブジェクトを挿入した場合は輪郭線が表示されます。

標準設定の状態ではオブジェクト張り付けを行うと、エクセルの場合はオブジェクト輪郭線が表示されます。



この輪郭線を消すにはオブジェクトにマウスカースルをあて、右マウスボタンでダブルクリックします。開いたポップアップメニューから「オブジェクトの書式設定」を選択します。「色と線」タブを選択します。



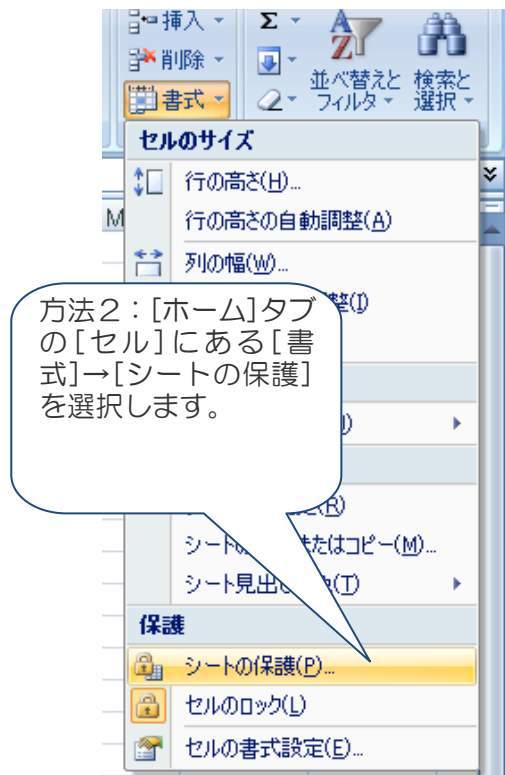
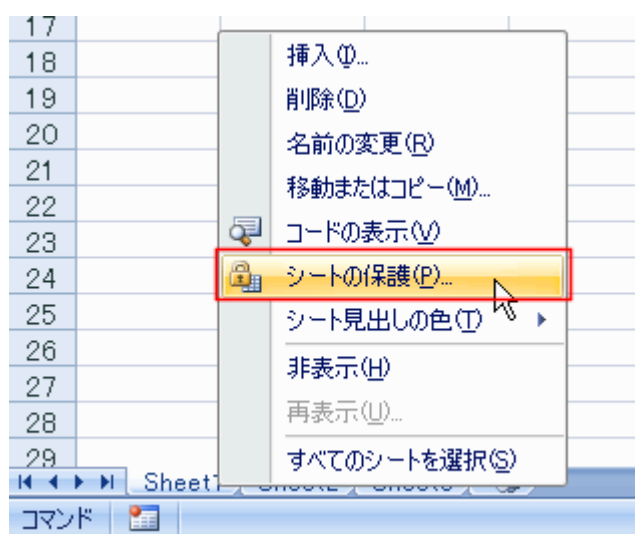
線の色を「線なし」に設定しOKボタンをクリックすれば、輪郭線はなくなります。

参考資料2.シートのロック(保護)

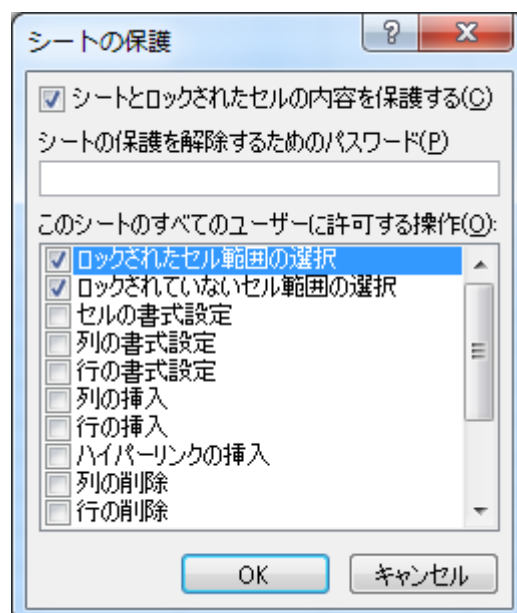
承認はんこ/日付印ペったんはOLEオブジェクトを用いているため、挿入した印影を他の文書へコピーする、あるいは、削除してしまうことができます。セキュリティ上問題ですが、MS-EXCELの「シートの保護」機能を用いることにより、シートの変更をできなくしていただくことができます。

【Excel2010/2007】

方法1：保護するシートの見出しを右クリックし、[シートの保護]を選択します。



パスワードを入力します。

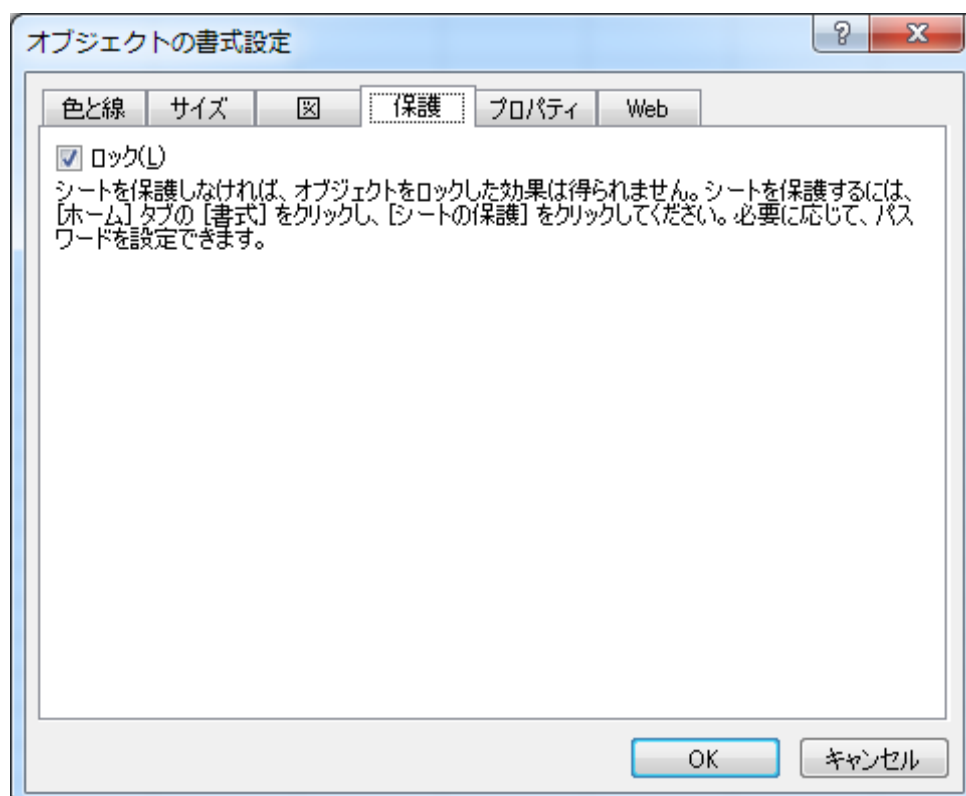
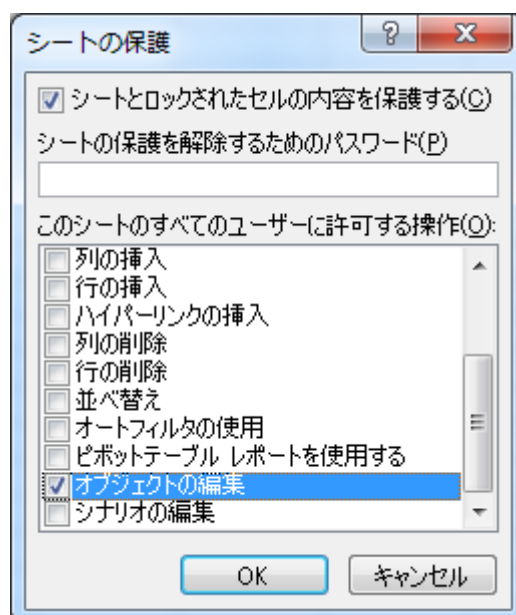


■e-Seal オブジェクトを保護対象からはずす

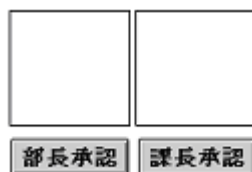
オブジェクトを保護対象からはずすことにより、シートを保護したまま押印することができます。

また、特定のオブジェクトだけを保護対象にしたり、保護対象からはずしたりすることも可能です。

オブジェクトを保護対象にするかしないかは、オブジェクトを選択し、メニュー 書式→オブジェクトを選択するか、あるいはマウス右ボタンクリックで「オブジェクトの書式設定」を選びます。タブ「保護」を選択し、ロックするかしないかを決定します。



参考資料3.承認定型用紙の作成



承認ボタンを供えた承認用紙

承認枠にボタンを供えた定型承認用紙を作成することができます。sample.xls に標準的なマクロとボタンを供えたシートがありますので、参考にしてください。

3-1.はんこオブジェクト挿入済みの承認用紙

議事録や報告書などに押印する場合、あらかじめ定型用紙にはんこオブジェクトを挿入しておくことで便利です。下の例は、MS-EXCEL の罫線描画機能を用いて、承認と審査の枠を作成し、枠の中にはんこオブジェクトを挿入したものです。まだ、承認を受けていませんので、印影は現れていません。



この状態を作成するのは簡単です。はんこオブジェクトを通常の方法で挿入し、承認しなければこの状態になります。承認しない状態でははんこオブジェクトは上の図のように青色（バージョンによっては黒の破線）になっています。印影をダブルクリックし、はんこオブジェクトをアクティブ化すれば、押印することができます。このように定型様式にあらかじめ承認はんこオブジェクトを挿入しておけば、押印場所の移動などに手間取ることがなくなります。



注) 最新バージョンの「承認はんこ」「日付印べったん」では未押印時の輪郭線は青の実線ではなくグレーの破線になります(上図では輪郭線は青くなっています)。

AppendixA はんこメニューアドインマクロの作成

はんこアドインマクロを修正したい場合はマクロのソースコードからアドインマクロを再作成してください。この章では、再コンパイルの方法を説明いたします。

Excel2002、Excel2007 の場合を例に、アドインマクロの作成方法について説明いたします。

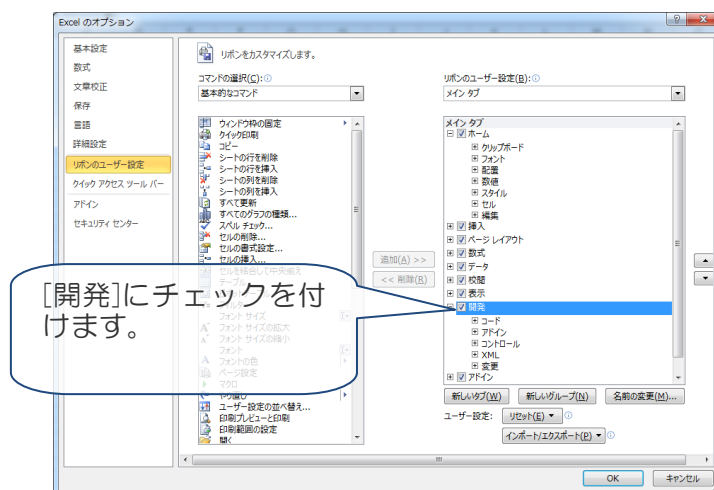
注)アドインマクロ e-SealMenu*.xla が Excel に組み込まれている場合には、ソースコードを編集する前に組み込みを解除しておくことをお勧めいたします。アドインマクロ e-SealMenu*.xla が組み込まれた状態でマクロソースファイル e-SealMenu*.xls を開くと2つのソースコードが表示され混乱するかもしれません。
アドインマクロの組み込み解除はアドインダイアログを開き、e-SealMenu** のチェックをはずします。

・開発タブを表示させる

手順O) Excel2010/Excel2007 の場合はあらかじめ開発タブを表示させます。
(Excel2003 以前のバージョンでは不要)

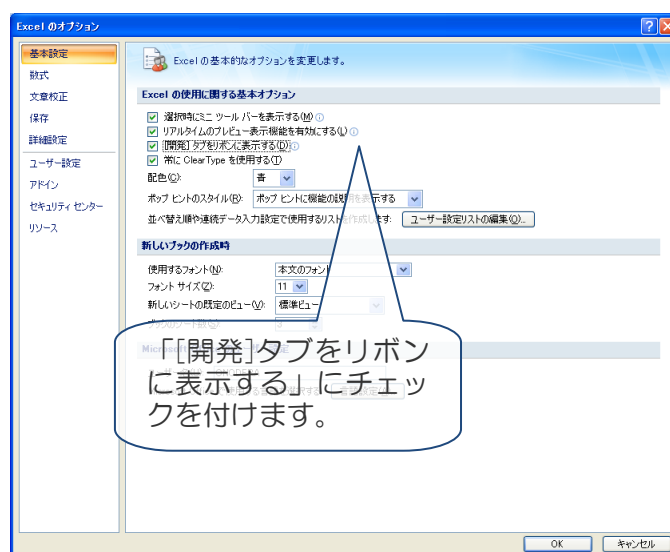
Excel2010 の場合

「Excel のオプション」ダイアログを表示し、[開発]にチェックを付け、ボタン OK をクリックします。



Excel2007 の場合

「Excel のオプション」ダイアログを表示し、「[開発]タブをリボンに表示する」にチェックを付け、ボタン OK をクリックします。



開発タブが表示されます。
コードを表示する場合は、
左端の「Visual Basic」を
クリックします。



手順1) ソースファイル e-Sealmenu_shpt.xls または e-Sealmenu_sh.xls または e-Sealmenu_pt.xls を開きます。
ソースファイルは フォルダ MacroSource の中にあります。
以下、e-Sealmenu_shpt.xls を例に説明いたします。

エクセルを起動してこのファイルを開きます。

手順2) VisualBasic エディターを開いてソースコードを表示します。

【Excel2007 の場合】
タブ「開発」中の「Visual Basic」を選択します。(図 A-2)

【Excel2002 の場合】
メニュー[マクロ:Visual Basic Editor]を選択すると VisualBasic エディターが開きます。(図 A-3)

注) ソースコードを開く際、セキュリティレベルエラーが表示されるかもしれません。その場合は、セキュリティレベルを中に下げてください。

参考) VisualBasic エディターの操作は Excel2007 , Excel2002 で共通です。

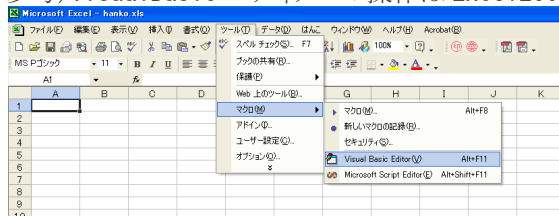


図 A-3 Excel2002 の場合:メニュー[マクロ:Visual Basic Editor]を選択し、Visual Basic を起動します。

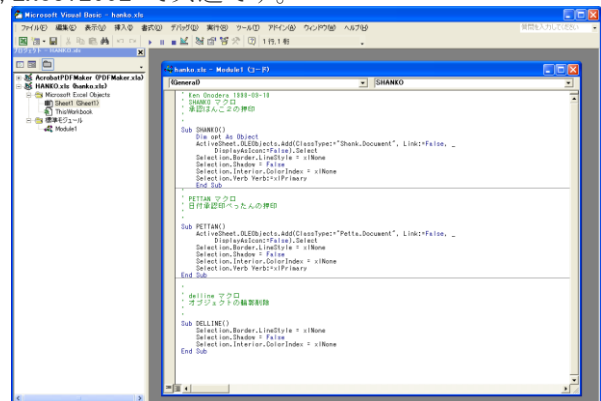


図 A-4 ソースコードを確認します。

手順3) VisualBasic エディターが開いたらソースコードを確認します。(図 A-4)

手順4) コンパイルします。(Excel2007,Excel2002 共通)
メニュー[デバック:E-SEALMENU.xls のコンパイル]を選択し、コンパイルします。(図 A-5)

手順5) メニュー[ファイル:終了して Microsoft Excel へ戻る]を選択します。

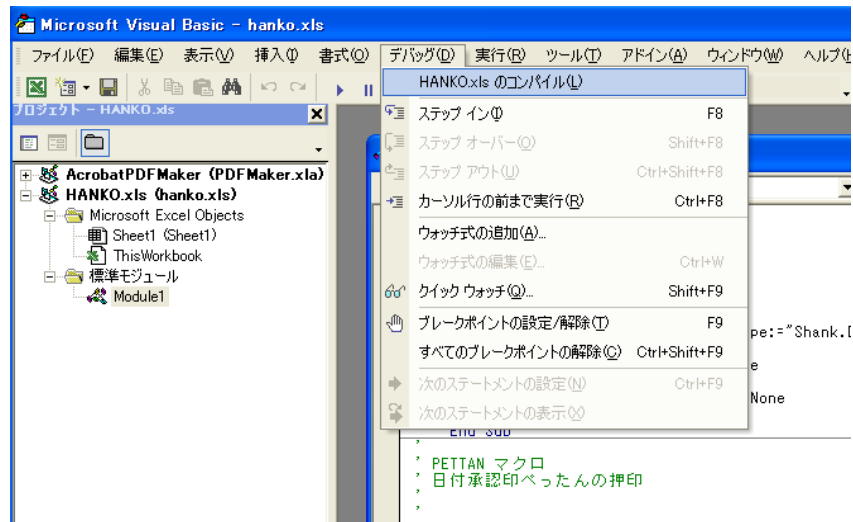
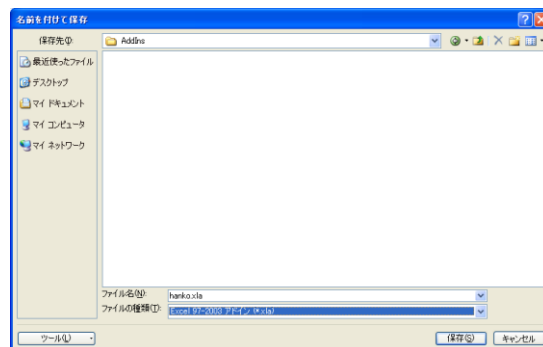
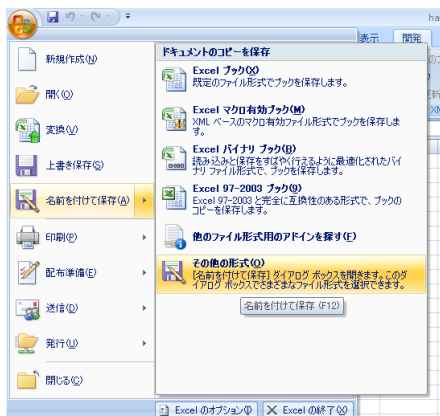


図 A-5 コンパイル (Excel2007, Excel2002 共通)

手順6) アドインマクロとして保存

【Excel2007 の場合】

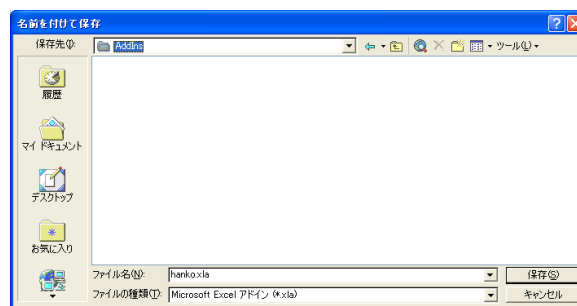
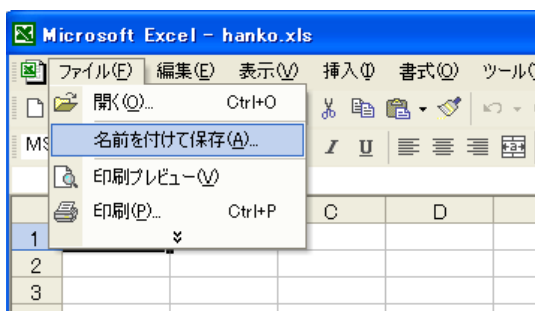
Office ボタンから[名前を付けて保存→その他の形式]を選択します。(図 A-6)
ファイルの種類として「Excel 97-2003 アドイン(*.xla)」を選択します。(図 A-7)



Office ボタンから[名前を付けて保存→その他の形式]を選択します。ファイルの種類として「Excel 97-2003 アドイン(*.xla)」を選択し、保存します。

【Excel2002 の場合】

メニュー[ファイル：名前を付けて保存]を選択します。(図 A-8)
ファイルの種類として「Microsoft Office Excel アドイン(*.xla)」を選択します。(図 A-9)

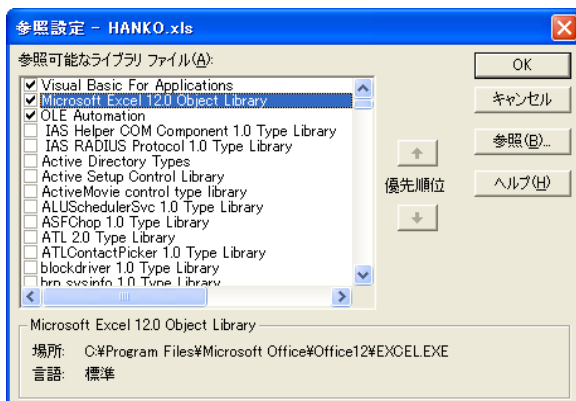


メニュー[ファイル：名前を付けて保存]を選択します。ファイルの種類として「Microsoft Office Excel アドイン(*.xla)」を選択します。

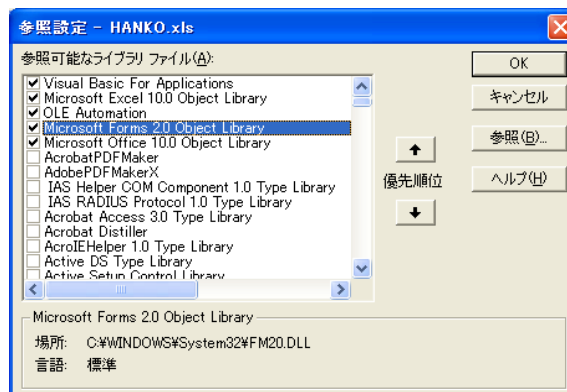
注意) ライブラリ「Microsoft Forms 2.0 Object Library」が参照可能になっていないとコンパイル時にエラーとなります。メニュー[ツール：参照設定]で参照可能なライブラリに「Microsoft Forms 2.0 Object Library」を追加してください。(Excel2002 の場合)

Excel2003, Excel2007 の場合はデフォルト設定のままで問題ないようです。

Visual Basic Editor 上で、メニュー[ツール：参照設定]を選択します。



Excel2007 の場合の参照設定

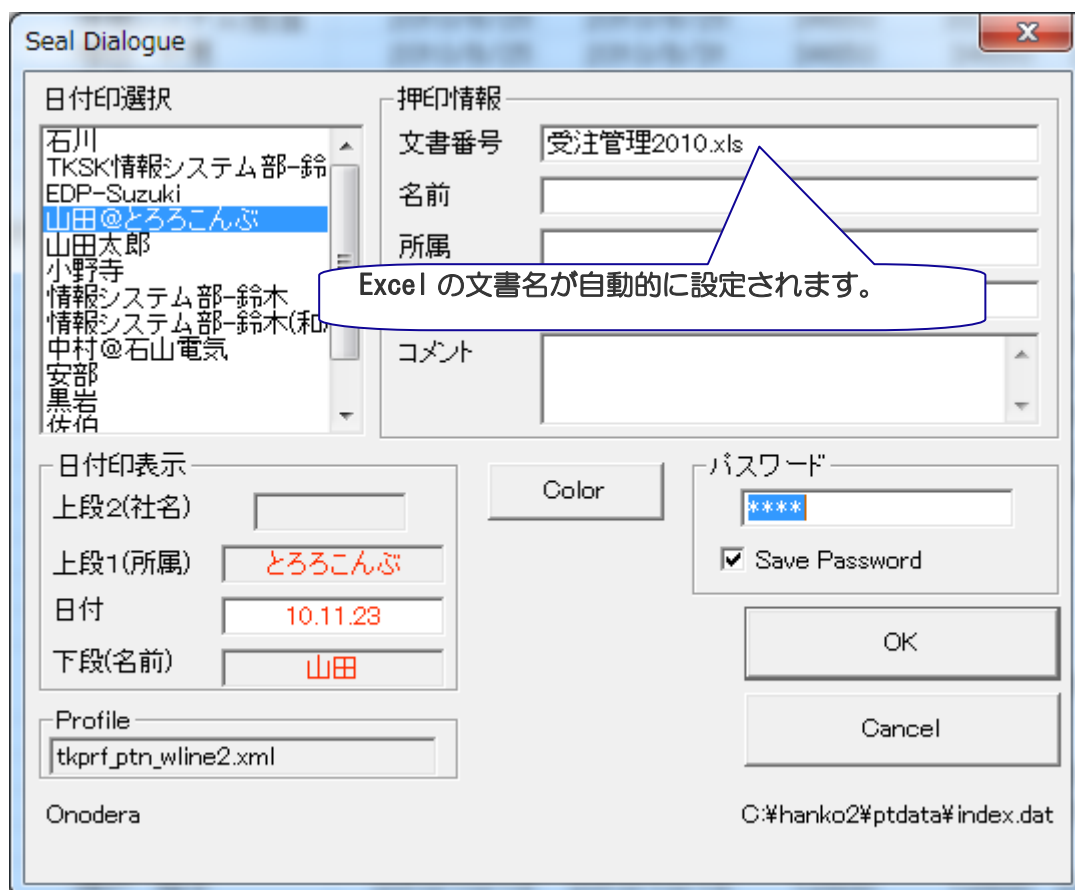


Excel2002 の場合の参照設定

Appendix B Excel 文書名の INI ファイル出力

MS-Excel 文書に押印する際、押印ダイアログ (Seal Dialogue) 上の文書番号に Excel のファイル名が初期値として設定されます。

Excel 押印メニューバーは押印の際、hanko.ini ファイルに Excel のアクティブブック名を出力します。



日付印ぺったん/承認はんこに文書名を渡すためにドキュメントフォルダー下の hanko.ini に文書名を出力します。

hanko.ini の例

```
[Common]
DocumentNo=受注管理 2010. xls
```

日付印ぺったん Ver5.6.3 Rel.4 はこの情報を読み込み、押印ダイアログの文書番号に初期値設定します。

注) 日付印ぺったん Ver5.6.3 Rel.4 より前のバージョンではこの機能はサポートされません。また、承認はんこについても現時点ではサポートされません。承認はんこの次期バージョン Ver4.7.7 Rel.5 でサポート予定です。

Appendix C. アドインマクロの手動配置

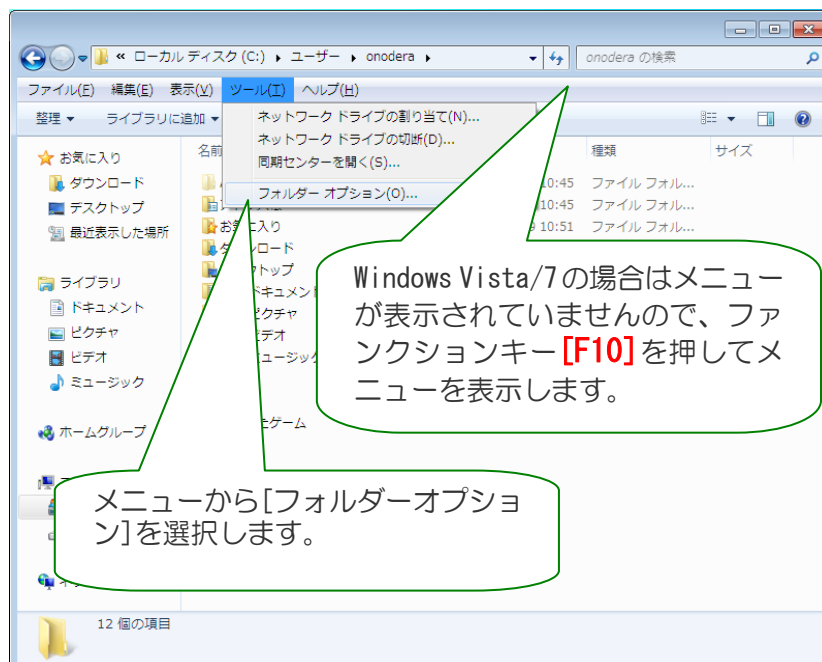
アドインファイルを置くためのアドインフォルダーがエクスプローラ上で表示されるようにします。

手順1) エクスプローラを開きます。

右面は Windows7 の例。Windows Vista でも同じです。

WindowsXP の場合はファンクションキー[F10]を押さなくてもメニューが表示されています。

フォルダーオプションを選択します。



手順2) Windows Vista/7 の場合はメニューが表示されていけませんので、ファンクションキー[F10]を押してメニューを表示します。

手順3) メニュー[ツール：フォルダオプション]を選択し、開いたフォルダオプションダイアログのタブ「表示」を選択してください。

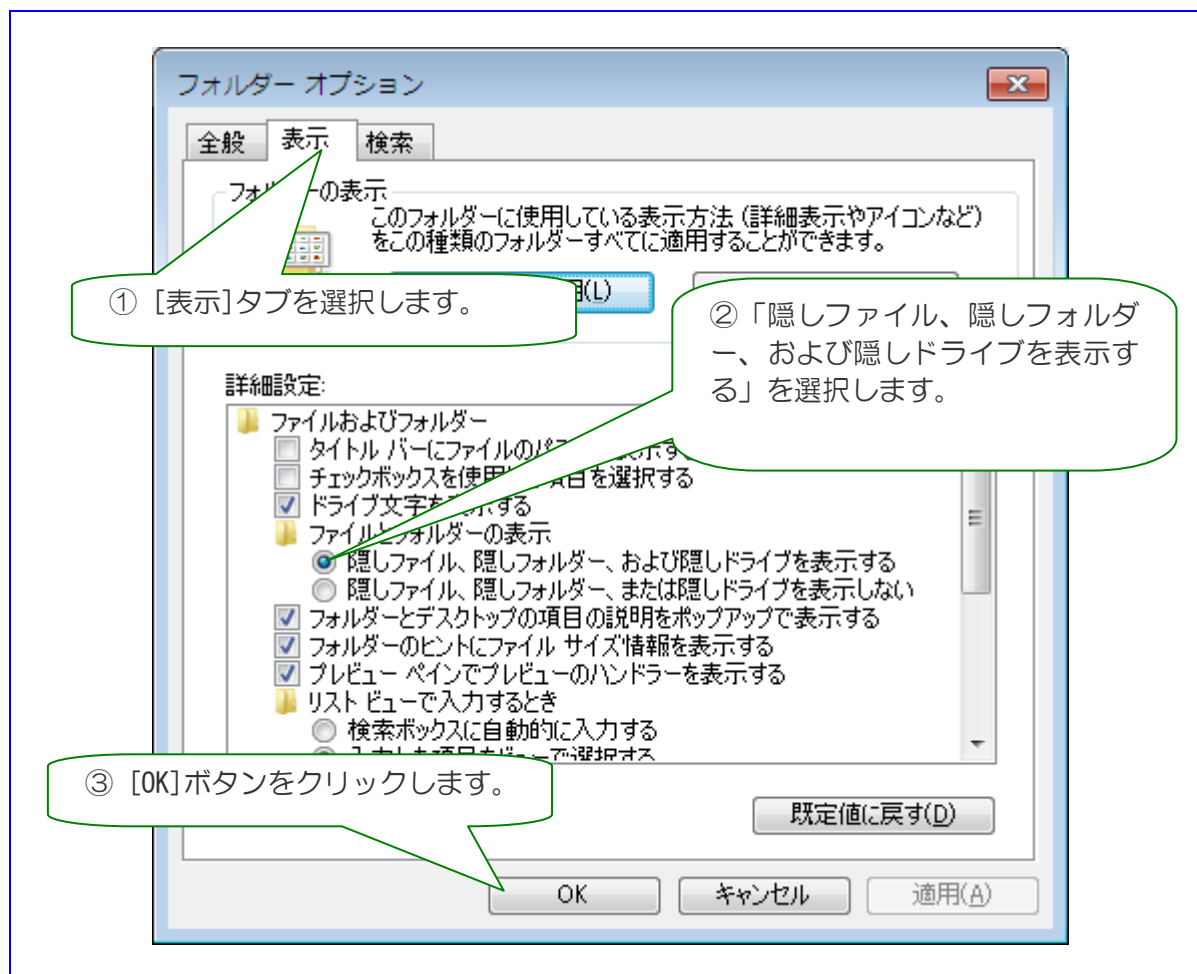


図 1-2 画面は Windows7 の例。Windows Vista/XP でも同じです。「隠しファイル、隠しフォルダーを表示する」を選択します。

手順4) 「隠しファイル、隠しフォルダーを表示する」を選択します。

手順5) ボタン[OK]をクリックしてフォルダーオプションダイアログを閉じます。

これでアドインフォルダーが見えるようになりました。

手順6) エクセルアドインフォルダーにアドインマクロファイル e-seal_menu_*.xla を配置します。

エクセルアドインフォルダーは OS によって異なり、次の通りです。

【WindowsXP および Windows2000 の場合】

C:\Documents and Settings\ユーザ名\Application Data\Microsoft\AddIns

【WindowsVista および Windows7 の場合】

C:\ユーザ\ユーザ名\AppData\Roaming\Microsoft\AddIns

おわり

とろろこんぶシステム工房
作成日：2003年1月20日
更新日：2011年2月18日